



ALLIANCEBERNSTEIN®

運用報告書(全体版)

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(予想分配金提示型)(愛称:GGO)

追加型投信／内外／株式

第4期(決算日2022年2月21日) 第5期(決算日2022年3月22日) 第6期(決算日2022年4月20日)

第7期(決算日2022年5月20日) 第8期(決算日2022年6月20日) 第9期(決算日2022年7月20日)

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2032年1月20日まで(信託設定日:2021年11月4日)	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。 ・マザーファンドを通じて、主として日本を含む世界各国の株式に分散投資します。 ・成長の可能性が高いと判断されるセクターにおいて、環境や社会志向等の持続可能な成長が見込まれるサステナブル投資テーマに基づき、魅力的な銘柄に投資するアクティブ運用を行います。 ・マザーファンドの運用は、アライアンス・バーンスタイン・エル・ビーに委託します。 ・実質外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行います。 ・ファミリーファンド方式で運用を行います。	
主運用対象	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(予想分配金提示型)	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
組入制限	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(予想分配金提示型)	・株式への実質投資割合は、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。
	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド	・株式の投資については、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資については、制限を設けません。
分配方針	①毎月決算を行い、原則として毎決算時に、以下の方針に基づき分配を行います。 ・分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ・収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配可能額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 ②留保金の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用を行います。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(予想分配金提示型)」は、このたび第9期の決算を行いました。

ここに、第4期から第9期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-5962-9687

(受付時間:営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス <https://www.alliancebernstein.co.jp>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			参 考	指 数		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落		期 騰 落	中 率			
(設定日)	円			円	%		%	%	%	百万円
2021年11月4日	10,000			—	—	1,104,760	—	—	—	62
1期(2021年11月22日)	10,099			0	1.0	1,107,795	0.3	95.8	—	1,255
2期(2021年12月20日)	9,525			0	△ 5.7	1,076,521	△ 2.8	94.1	—	1,909
3期(2022年1月20日)	9,034			0	△ 5.2	1,069,603	△ 0.6	96.6	—	1,886
4期(2022年2月21日)	8,576			0	△ 5.1	1,037,639	△ 3.0	97.2	—	1,811
5期(2022年3月22日)	8,929			0	4.1	1,093,989	5.4	96.2	—	1,887
6期(2022年4月20日)	9,280			0	3.9	1,171,710	7.1	95.5	—	1,934
7期(2022年5月20日)	8,201			0	△11.6	1,030,681	△12.0	96.3	—	1,651
8期(2022年6月20日)	8,072			0	△ 1.6	1,023,566	△ 0.7	93.5	—	1,608
9期(2022年7月20日)	8,717			0	8.0	1,106,612	8.1	94.6	—	1,737

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を表示しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

※参考指数について

当ファンドの参考指数は「MSCIワールド・インデックス（配当金込み、円ベース）」です。「MSCIワールド・インデックス（配当金込み、円ベース）」は、原則として基準価額計算日前日付のMSCIワールド・インデックス（配当金込み、米ドルベース）の値を、委託会社が計算日付の為替レート（株式会社三菱UFJ銀行が発表する対顧客電信売買相場の仲値）を用いて円換算したものです。

当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	参 考 指 数 率	騰 落 率	株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
第 4 期	(期 首) 2022年 1 月20日	円 9,034	% —	1,069,603	% —	% 96.6	% —
	1 月末	8,605	△ 4.7	1,047,965	△ 2.0	98.7	—
	(期 末) 2022年 2 月21日	8,576	△ 5.1	1,037,639	△ 3.0	97.2	—
第 5 期	(期 首) 2022年 2 月21日	8,576	—	1,037,639	—	97.2	—
	2 月末	8,644	0.8	1,041,335	0.4	96.4	—
	(期 末) 2022年 3 月22日	8,929	4.1	1,093,989	5.4	96.2	—
第 6 期	(期 首) 2022年 3 月22日	8,929	—	1,093,989	—	96.2	—
	3 月末	9,240	3.5	1,148,557	5.0	96.4	—
	(期 末) 2022年 4 月20日	9,280	3.9	1,171,710	7.1	95.5	—
第 7 期	(期 首) 2022年 4 月20日	9,280	—	1,171,710	—	95.5	—
	4 月末	8,656	△ 6.7	1,097,703	△ 6.3	96.9	—
	(期 末) 2022年 5 月20日	8,201	△11.6	1,030,681	△12.0	96.3	—
第 8 期	(期 首) 2022年 5 月20日	8,201	—	1,030,681	—	96.3	—
	5 月末	8,749	6.7	1,097,792	6.5	96.3	—
	(期 末) 2022年 6 月20日	8,072	△ 1.6	1,023,566	△ 0.7	93.5	—
第 9 期	(期 首) 2022年 6 月20日	8,072	—	1,023,566	—	93.5	—
	6 月末	8,396	4.0	1,071,664	4.7	95.1	—
	(期 末) 2022年 7 月20日	8,717	8.0	1,106,612	8.1	94.6	—

(注) 各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

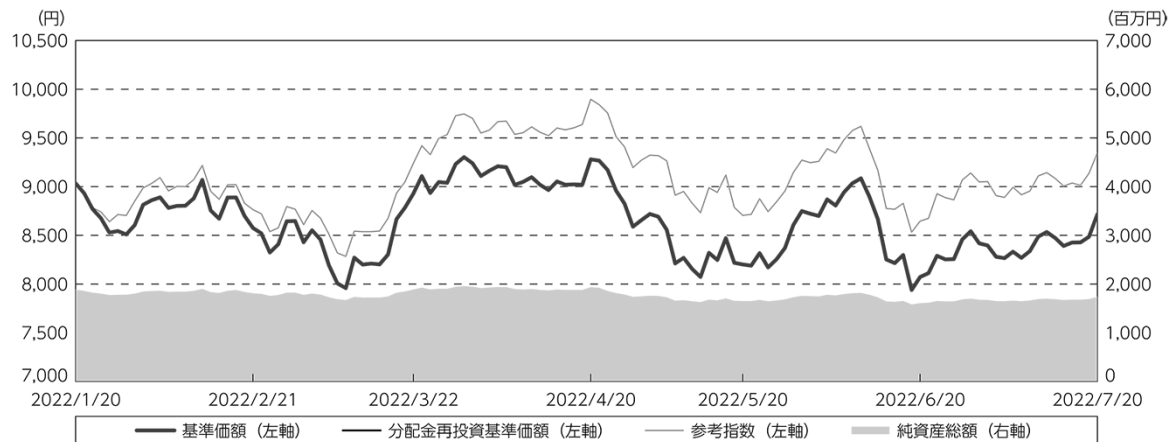
(注) 月末は、各月の最終営業日です。

運用経過

アラライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ（予想分配金提示型）（以下「当ファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

作成期間中の基準価額等の推移

（2022年1月21日～2022年7月20日）



第4期首：9,034円

第9期末：8,717円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△ 3.5%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首（2022年1月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 参考指数は、MSCIワールド・インデックス（配当金込み、円ベース）です。

○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は前作成期末比－3.5%※と、世界の株式市場の動きを表すMSCIワールド・インデックス（配当金込み、円ベース）の同＋3.5%を下回るパフォーマンスとなりました。

※基準価額の騰落率は、各決算期末の税込み分配金を当該決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因：

- ・ヘルスケア関連や公益事業関連などの保有銘柄の価格上昇
- ・円安米ドル高となったこと

下落要因：

- ・情報技術関連や金融関連などの保有銘柄の価格下落

投資環境

(2022年1月21日～2022年7月20日)

【株式市場】

当作成期の世界の株式市場は、前作成期末比で下落しました。

当作成期初から2022年3月半ばにかけては、欧米の金融引締め観測、ロシアのウクライナへの軍事侵攻、ロシアへの経済制裁発動などが嫌気されて下落しました。その後3月後半には、米連邦公開市場委員会（FOMC）の結果が想定内となったほか、ウクライナとロシアの停戦交渉の進展期待などから上昇しました。4月以降は、欧米での金融引締め加速への警戒感やロシアのウクライナ侵攻の長期化、一部の軟調な企業決算などから下落しました。5月下旬にやや反発する場面があったものの、6月に入ると、インフレ抑制を目的とした欧米金融当局による積極的な利上げ観測を受けて、景気後退懸念が高まったことから再び下落しました。

【為替市場】

前作成期末比で円安米ドル高となりました。

米ドル円レートは、当作成期初から2022年3月上旬にかけては、ほぼ横ばいで推移しました。その後、当作成期末にかけては、ウクライナ情勢の緊迫化で米ドルが買われたことに加え、米連邦準備理事会（FRB）がタカ派姿勢を強める一方、日本銀行が金融緩和継続の姿勢を示したことによる日米の金利差の拡大を背景に、円安米ドル高が加速しました。

運用概況

(2022年1月21日～2022年7月20日)

<当ファンド>

当ファンドは、アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド（以下「マザーファンド」ということがあります。）受益証券への投資を通じて、主として成長の可能性が高いと判断されるセクターにおいて、環境や社会志向等の持続可能な成長が見込まれるサステナブル投資テーマに基づき、日本を含む世界各国の株式に分散投資することにより、信託財産の成長を目指します。

当ファンドは、引き続きほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

<マザーファンド>

主として日本を含む世界各国の株式に分散投資し、成長の可能性が高いと判断されるセクターにおいて、環境や社会志向等の持続可能な成長が見込まれるサステナブル投資テーマに基づき、魅力的な銘柄に投資するアクティブ運用を行います。

運用にあたっては、グラスルーツ（草の根）リサーチに基づき、高い利益成長もしくは持続的な利益成長の可能性が高いと判断される企業に対する投資を継続して行いました。

その結果、セクター配分においては、金融セクターなどの組入比率が上昇しました。一方、資本財・サービス・セクターや一般消費財・サービス・セクターなどの組入比率が低下しました。国別配分においては、デンマークやドイツなどの組入比率が上昇しました。一方、フランスなどの組入比率は低下しました。

<マザーファンドのセクター別組入比率>

前作成期末(2022年1月20日現在)

セクター名	比率
情報技術	28.7%
資本財・サービス	22.0%
ヘルスケア	19.0%
金融	15.1%
一般消費財・サービス	5.6%
その他	6.3%
現金等	3.4%



当作成期末(2022年7月20日現在)

セクター名	比率
情報技術	28.0%
資本財・サービス	20.5%
ヘルスケア	18.5%
金融	16.2%
一般消費財・サービス	4.8%
その他	6.5%
現金等	5.4%

<マザーファンドの国別組入比率>

前作成期末(2022年1月20日現在)

国名	比率
アメリカ	58.8%
オランダ	6.2%
フランス	3.6%
スイス	3.5%
日本	3.4%
その他	21.1%
現金等	3.4%



当作成期末(2022年7月20日現在)

国名	比率
アメリカ	59.5%
オランダ	6.1%
ドイツ	4.1%
デンマーク	3.6%
スイス	3.5%
その他	17.8%
現金等	5.4%

※セクター配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard（GICS）の分類で区分しています。

※国別配分は、発行体の国籍や事業基盤等を考慮して区分しています。

個別銘柄では、国際金融市場の運営に携わるドイツ証券取引所や、新薬治療法およびヘルスケア製品を普及する過程において付加価値サービスを提供するヘルスケア関連会社のウエスト・ファーマシューティカル・サービズなどを新たに組み入れたほか、風力発電機メーカーのベスタス・ウィンド・システムズなどを買い増しました。一方、臨床検査や医薬品開発支援サービスを提供するラボラトリー・コーポレーション・オブ・アメリカや、無線機器およびシステム・ソリューションを提供する通信事業会社のモトローラ・ソリューションズなどを全て売却したほか、補強製品や複合素材などの製造・販売を行うヘクセルなどを一部売却しました。

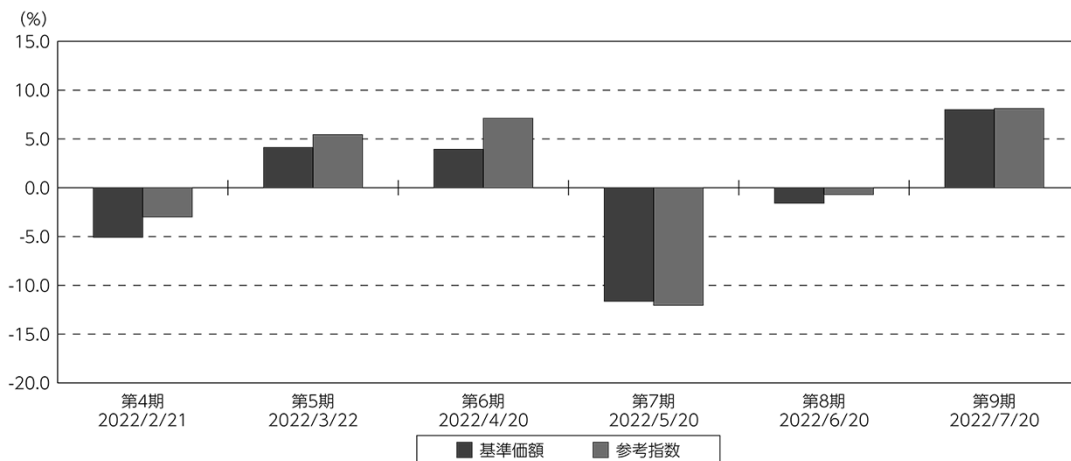
株式の組入比率は、期を通じて高い水準を維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年1月21日～2022年7月20日)

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、参考指数は、MSCIワールド・インデックス（配当金込み、円ベース）です。

分配金

(2022年1月21日～2022年7月20日)

当作成期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、見送ることとしました。なお、収益分配に充てなかった利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1 万口当たり、税込み)

項 目	第 4 期	第 5 期	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
	2022年1月21日～ 2022年2月21日	2022年2月22日～ 2022年3月22日	2022年3月23日～ 2022年4月20日	2022年4月21日～ 2022年5月20日	2022年5月21日～ 2022年6月20日	2022年6月21日～ 2022年7月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%	— —%	— —%	— —%	— —%	— —%
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	51	55	58	62	68	77

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注) 上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

<マザーファンド>

経済成長が鈍化する中、地政学的またはマクロ経済的な要因に左右されない企業、そして健全なバランスシートを有することで困難な局面を乗り越えることのできる質の高い企業に注目しています。

強固なバランスシートを有する企業は、景気減速時でも研究開発など将来のイノベーションに向けた投資を行うことができます。また、マザーファンドが注目する「気候」、「健康」、「エンパワーメント」の投資テーマにおける問題の解決は世界中で切望されており、関連する企業は、継続的な需要の高まりを受けて長期にわたり力強い成長機会を有するとみています。「気候」については、多くの国々が炭素排出量ネットゼロを目指しており、脱炭素化に向けた世界の投資額は大きく拡大することが見込まれています。クリーンエネルギー、持続可能な輸送、資源効率化に関連する企業は、今後数十年にわたって成長することが予想されます。ヘルスケアへのアクセス拡大および食料や安全な水の確保といった「健康」に関連するテーマは、長期的な需要が見込まれる重要な成長分野と言えます。世界人口の増加が予想される中、住宅、教育、輸送、雇用の分野や経済維持の面で「エンパワーメント」の問題解決は不可欠です。

引き続き、「気候」、「健康」、「エンパワーメント」の投資テーマに基づき、魅力的と判断する銘柄に投資することで、信託財産の長期的な成長を目指します。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 1 月21日～2022年 7 月20日)

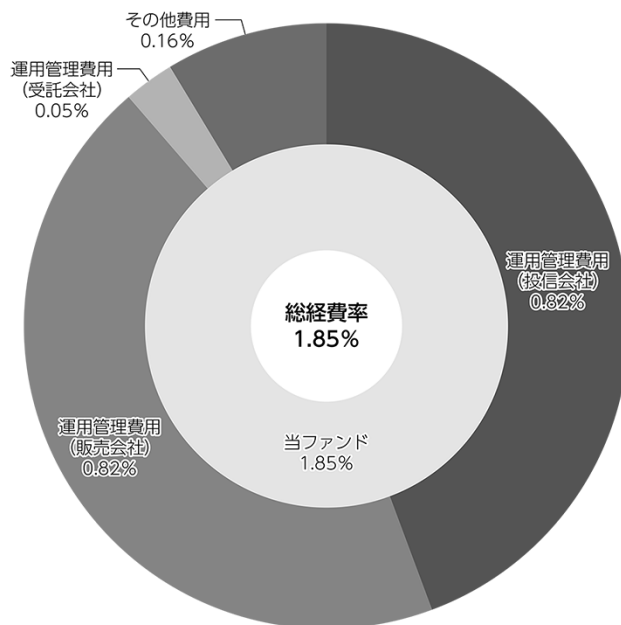
項 目	第 4 期～第 9 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	74	0.845	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(36)	(0.409)	委託した資金の運用、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(36)	(0.409)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.013	(b) 売買委託手数料＝作成期間中の売買委託手数料÷作成期間中の平均受益権口数
(株 式)	(1)	(0.013)	売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.012	(c) 有価証券取引税＝作成期間中の有価証券取引税÷作成期間中の平均受益権口数
(株 式)	(1)	(0.012)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	7	0.077	(d) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(6)	(0.072)	その他は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受益権の管理事務に係る費用、計理業務関係費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成・印刷・交付および届出に係る費用等
合 計	83	0.947	
作成期間中の平均基準価額は、8,715円です。			

- (注) 作成期間中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。
- (注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は、1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3 位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成対象期間の平均受益権口数に作成対象期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年 1 月21日～2022年 7 月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第 4 期～第 9 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド	千口 9,604	千円 45,087	千口 30,709	千円 147,380

(注) 単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2022年 1 月21日～2022年 7 月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第 4 期～第 9 期
	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド
(a) 当作成期中の株式売買金額	11,664,034千円
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	34,776,871千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.33

(注) 株式売買金額は、受け渡し代金。

(注) 平均組入株式時価総額は、各月末現在の組入株式時価総額（外貨建株式は、当該月末日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した額）の単純平均。

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年 1 月21日～2022年 7 月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年 1 月21日～2022年 7 月20日)

第 4 期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	第 9 期末残高(元本)	取引の理由
百万円 1	百万円 —	百万円 —	百万円 1	当初設定時における取得

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) —印は該当なし。

○組入資産の明細

(2022年 7 月20日現在)

親投資信託残高				
銘	柄	第 3 期末	第 9 期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド		389,126	368,021	1,736,951

(注) 単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2022年 7 月20日現在)

項 目	第 9 期末	
	評 価 額	比 率
		千円 %
アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド	1,736,951	99.9
コール・ローン等、その他	2,446	0.1
投資信託財産総額	1,739,397	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンドにおいて、第 9 期末における外貨建純資産（34,893,747千円）の投資信託財産総額（36,403,239千円）に対する比率は95.9%です。

(注) 外貨建資産は、第 9 期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、1 米ドル＝138.17円、1 ユーロ＝141.60円、1 英ポンド＝166.01円、1 スイスフラン＝142.78円、1 スウェーデンクローナ＝13.55円、1 ノルウェークローネ＝13.97円、1 デンマーククローネ＝19.02円、1 香港ドル＝17.60円、1 新台幣ドル＝4.6222円、1 インドルピー＝1.74円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第 4 期末	第 5 期末	第 6 期末	第 7 期末	第 8 期末	第 9 期末
	2022年 2 月 21 日現在	2022年 3 月 22 日現在	2022年 4 月 20 日現在	2022年 5 月 20 日現在	2022年 6 月 20 日現在	2022年 7 月 20 日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,813,801,592	1,890,343,604	1,937,601,406	1,657,908,628	1,610,574,854	1,739,397,694
コール・ローン等	354,019	555,452	380,067	358,464	177,533	36,220
アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド(評価額)	1,810,647,573	1,887,288,152	1,934,521,339	1,651,140,164	1,607,787,321	1,736,951,474
未収入金	2,800,000	2,500,000	2,700,000	6,410,000	2,610,000	2,410,000
(B) 負債	2,793,887	2,441,437	2,618,877	6,473,233	2,508,824	2,372,108
未払解約金	436	—	—	3,990,176	96	1,955
未払信託報酬	2,752,490	2,404,021	2,578,923	2,445,741	2,471,065	2,334,478
未払利息	—	1	1	1	—	—
その他未払費用	40,961	37,415	39,953	37,315	37,663	35,675
(C) 純資産総額 (A－B)	1,811,007,705	1,887,902,167	1,934,982,529	1,651,435,395	1,608,066,030	1,737,025,586
元本	2,111,741,335	2,114,365,422	2,085,009,874	2,013,677,475	1,992,218,274	1,992,573,604
次期繰越損益金	△ 300,733,630	△ 226,463,255	△ 150,027,345	△ 362,242,080	△ 384,152,244	△ 255,548,018
(D) 受益権総口数	2,111,741,335口	2,114,365,422口	2,085,009,874口	2,013,677,475口	1,992,218,274口	1,992,573,604口
1 万口当たり基準価額 (C／D)	8.576円	8.929円	9.280円	8.201円	8.072円	8.717円

(注) 第 4 期首元本額2,088,460,668円、第 4 ～ 9 期中追加設定元本額51,363,235円、第 4 ～ 9 期中一部解約元本額147,250,299円。第 9 期末現在における 1 口当たり純資産額0.8717円。

(注) 第 9 期末現在において純資産総額が元本を下回っており、その差額は△255,548,018円です。

○損益の状況

項 目	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
	2022年1月21日～ 2022年2月21日	2022年2月22日～ 2022年3月22日	2022年3月23日～ 2022年4月20日	2022年4月21日～ 2022年5月20日	2022年5月21日～ 2022年6月20日	2022年6月21日～ 2022年7月20日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 21	△ 10	△ 8	△ 6	△ 3	—
支払利息	△ 21	△ 10	△ 8	△ 6	△ 3	—
(B) 有価証券売買損益	△ 93,033,231	76,908,241	75,910,574	△214,752,374	△ 23,269,274	131,035,267
売買益	10,114	77,653,086	76,093,585	1,080,785	1,306,809	131,036,217
売買損	△ 93,043,345	△ 744,845	△ 183,011	△215,833,159	△ 24,576,083	△ 950
(C) 信託報酬等	△ 2,793,451	△ 2,441,436	△ 2,618,876	△ 2,483,056	△ 2,508,728	△ 2,370,153
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 95,826,703	74,466,795	73,291,690	△217,235,436	△ 25,778,005	128,665,114
(E) 前期繰越損益金	△189,932,372	△284,150,900	△206,772,353	△128,802,217	△342,201,199	△367,978,777
(F) 追加信託差損益金	△ 14,974,555	△ 16,779,150	△ 16,546,682	△ 16,204,427	△ 16,173,040	△ 16,234,355
(配当等相当額)	(4,931,392)	(4,985,390)	(4,922,368)	(4,759,995)	(4,715,460)	(4,718,560)
(売買損益相当額)	(△ 19,905,947)	(△ 21,764,540)	(△ 21,469,050)	(△ 20,964,422)	(△ 20,888,500)	(△ 20,952,915)
(G) 計 (D + E + F)	△300,733,630	△226,463,255	△150,027,345	△362,242,080	△384,152,244	△255,548,018
(H) 収益分配金	0	0	0	0	0	0
次期繰越損益金 (G + H)	△300,733,630	△226,463,255	△150,027,345	△362,242,080	△384,152,244	△255,548,018
追加信託差損益金	△ 14,974,555	△ 16,779,150	△ 16,546,682	△ 16,204,427	△ 16,173,040	△ 16,234,355
(配当等相当額)	(4,938,659)	(4,991,665)	(4,922,368)	(4,762,877)	(4,716,117)	(4,718,623)
(売買損益相当額)	(△ 19,913,214)	(△ 21,770,815)	(△ 21,469,050)	(△ 20,967,304)	(△ 20,889,157)	(△ 20,952,978)
分配準備積立金	5,908,639	6,829,875	7,209,061	7,784,825	8,948,482	10,733,511
繰越損益金	△291,667,714	△216,513,980	△140,689,724	△353,822,478	△376,927,686	△250,047,174

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額およびその他費用等を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第4期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (0円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (0円)、収益調整金額 (4,938,659円) および分配準備積立金額 (5,908,639円) より分配対象収益額は10,847,298円 (10,000口当たり51円) ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

(注) 第5期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (954,489円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (0円)、収益調整金額 (4,991,665円) および分配準備積立金額 (5,875,386円) より分配対象収益額は11,821,540円 (10,000口当たり55円) ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

(注) 第6期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (474,027円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (0円)、収益調整金額 (4,922,368円) および分配準備積立金額 (6,735,034円) より分配対象収益額は12,131,429円 (10,000口当たり58円) ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

(注) 第7期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (828,440円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (0円)、収益調整金額 (4,762,877円) および分配準備積立金額 (6,956,385円) より分配対象収益額は12,547,702円 (10,000口当たり62円) ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

(注) 第8期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (1,249,967円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (0円)、収益調整金額 (4,716,117円) および分配準備積立金額 (7,698,515円) より分配対象収益額は13,664,599円 (10,000口当たり68円) ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

(注) 第9期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (1,785,039円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (0円)、収益調整金額 (4,718,623円) および分配準備積立金額 (8,948,472円) より分配対象収益額は15,452,134円 (10,000口当たり77円) ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

	第 4 期	第 5 期	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
1 万口当たり分配金（税込み）	0円	0円	0円	0円	0円	0円



ALLIANCEBERNSTEIN®

運用報告書

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・ オポチュニティーズ・マザーファンド

第24期(決算日2022年7月20日)

(計算期間：2021年8月3日～2022年7月20日)

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

運 用 方 針	信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。
主 要 運 用 対 象	世界各国の株式（日本株を含みます）を主要投資対象とします。
組 入 制 限	①株式への投資割合には、制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 お客様窓口

電 話 番 号 03-5962-9687

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス <https://www.alliancebernstein.co.jp>

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		参 考 指 数		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落 率		騰 落 率				
	円	%		%	%	%	%	百万円
20期(2018年7月31日)	25,865	12.8	680,056	12.3	96.6	—	1.4	6,882
21期(2019年7月31日)	27,572	6.6	696,200	2.4	93.8	—	1.9	6,926
22期(2020年7月31日)	33,129	20.2	713,296	2.5	93.1	—	—	7,879
23期(2021年8月2日)	47,422	43.1	1,010,477	41.7	95.5	—	—	18,050
24期(2022年7月20日)	47,197	△ 0.5	1,106,612	9.5	94.6	—	—	36,109

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落 率		騰 落 率			
(期 首)	円	%		%	%	%	%
2021年8月2日	47,422	—	1,010,477	—	95.5	—	—
8月末	50,200	5.9	1,039,669	2.9	96.7	—	—
9月末	48,638	2.6	1,020,565	1.0	96.4	—	—
10月末	52,349	10.4	1,088,798	7.8	95.8	—	—
11月末	52,789	11.3	1,082,818	7.2	96.1	—	—
12月末	53,858	13.6	1,126,198	11.5	96.2	—	—
2022年1月末	46,202	△ 2.6	1,047,965	3.7	98.7	—	—
2月末	46,472	△ 2.0	1,041,335	3.1	96.4	—	—
3月末	49,758	4.9	1,148,557	13.7	96.3	—	—
4月末	46,675	△ 1.6	1,097,703	8.6	96.8	—	—
5月末	47,254	△ 0.4	1,097,792	8.6	96.2	—	—
6月末	45,411	△ 4.2	1,071,664	6.1	95.0	—	—
(期 末)							
2022年7月20日	47,197	△ 0.5	1,106,612	9.5	94.6	—	—

(注) 各騰落率は期首比です。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

※参考指数について

当ファンドの参考指数は「MSCIワールド・インデックス（配当金込み、円ベース）」です。「MSCIワールド・インデックス（配当金込み、円ベース）」は、原則として基準価額計算日前日付のMSCIワールド・インデックス（配当金込み、米ドルベース）の値を、委託会社が計算日付の為替レート（株式会社三菱UFJ銀行が発表する対顧客電信売買相場の仲値）を用いて円換算したものです。
当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。

運用経過

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド(以下「当マザーファンド」ということがあります。)の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

(2021年8月3日～2022年7月20日)

○基準価額等の推移

基準価額は前期末比-0.5%となりました。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・資本財・サービス関連や公益事業関連などの保有銘柄の価格上昇
- ・円安米ドル高となったこと

下落要因

- ・情報技術関連や金融関連などの保有銘柄の価格下落

当期中の基準価額の推移
2021年8月3日～2022年7月20日



当期中の参考指数の推移
2021年8月3日～2022年7月20日



*参考指数については前ページ「※参考指数について」をご参照ください。

投資環境

(2021年8月3日～2022年7月20日)

【株式市場】

当期の世界の株式市場は、前期末比で下落しました。

期初は上昇してスタートしたものの、2021年9月中旬には、中国企業のデフォルト懸念や欧米金融当局による金融緩和縮小への警戒感から下落しました。10月には、欧米の好調な企業決算や景気回復期待の高まりなどを背景に反発したものの、その後は新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大懸念や米国の早期利上げ観測などから上値の重い展開となりました。2022年に入ると、欧米の金融引締め観測、ロシアのウクライナへの軍事侵攻、ロシアへの経済制裁発動などを背景に下落しました。その後3月後半には、米連邦公開市場委員会(FOMC)の結果が想定内となったほか、ウクライナとロシアの停戦交渉の進展期待などから上昇しました。4月以降は、欧米での金融引締め加速への警戒感やロシアのウクライナ侵攻の長期化、一部の軟調な企業決算などから下落しました。5月下旬にやや反発する場面があったものの、6月に入ると、インフレ抑制を目的とした欧米金融当局による積極的な利上げ観測を受けて、景気後退懸念が高まったことから再び下落しました。

【為替市場】

前期末と比べて円安米ドル高となりました。

期初から2022年3月上旬にかけては、緩やかな円安米ドル高で推移しましたが、その後は期末にかけては、ウクライナ情勢の緊迫化で米ドルが買われたことに加え、米連邦準備理事会(FRB)がタカ派姿勢を強める一方、日本銀行が金融緩和継続の姿勢を示したことによる日米の金利差の拡大を背景に、円安米ドル高が加速しました。

運用概況

(2021年8月3日～2022年7月20日)

当マザーファンドは、主として日本を含む世界各国の株式に分散投資し、成長の可能性が高いと判断されるセクターにおいて、環境や社会志向等の持続可能な成長が見込まれるサステナブル投資テーマに基づき、魅力的な銘柄に投資するアクティブ運用を行います。

運用にあたっては、グラスルーツ(草の根)リサーチに基づき、高い利益成長もしくは持続的な利益成長の可能性が高いと判断される企業に対する投資を継続して行いました。

その結果、セクター配分においては、金融セクターや資本財・サービス・セクターなどの組入比率が上昇しました。一方、一般消費財・サービス・セクターやヘルスケア・セクターなどの組入比率が低下しました。国別配分においては、アメリカやドイツなどの組入比率が上昇しました。一方、オランダやインドなどの組入比率が低下しました。

<マザーファンドのセクター別組入比率>

前期末（2021年8月2日現在）

セクター	比率
情報技術	28.5%
資本財・サービス	19.7%
ヘルスケア	19.3%
金融	13.1%
一般消費財・サービス	6.9%
その他	7.9%
現金等	4.5%



当期末（2022年7月20日現在）

セクター	比率
情報技術	28.0%
資本財・サービス	20.5%
ヘルスケア	18.5%
金融	16.2%
一般消費財・サービス	4.8%
その他	6.5%
現金等	5.4%

<マザーファンドの国別組入比率>

前期末（2021年8月2日現在）

国名	比率
アメリカ	58.2%
オランダ	7.2%
デンマーク	4.0%
インド	4.0%
スイス	3.7%
その他	18.5%
現金等	4.5%



当期末（2022年7月20日現在）

国名	比率
アメリカ	59.5%
オランダ	6.1%
ドイツ	4.1%
デンマーク	3.6%
スイス	3.5%
その他	17.8%
現金等	5.4%

※セクター配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard (GICS)の分類で区分しています。

国別配分は、発行体の国籍や事業基盤等を考慮して区分しています。

個別銘柄では、農機具メーカーのディーアーや、医療テクノロジー会社のベクトン・ディッキンソンなどを新たに組み入れたほか、風力発電機メーカーのベスタス・ウィンド・システムズなどを買い増しました。一方、臨床検査や医薬品開発支援サービスを提供するラボラトリー・コーポレーション・オブ・アメリカや、無線機器およびシステム・ソリューションを提供する通信事業会社のモトローラ・ソリューションズなどを全て売却したほか、補強製品や複合素材などの製造・販売を行うヘクセルなどを一部売却しました。

株式の組入比率は、期を通じて高い水準を維持しました。

今後の運用方針

当マザーファンドでは、持続可能な利益成長が期待される投資機会として、国際連合総会で採択された持続可能な開発目標(SDGs)に対応する企業に着目しています。

経済成長が鈍化する中、地政学的またはマクロ経済的な要因に左右されない企業、そして健全なバランスシートを有することで困難な局面を乗り越えることのできる質の高い企業に注目しています。強固なバランスシートを有する企業は、景気減速時でも研究開発など将来のイノベーションに向けた投資を行うことができます。また、当マザーファンドが注目する「気候」、「健康」、「エンパワーメント」の投資テーマにおける問題の解決は世界中で切望されており、関連する企業は、継続的な需要の高まりを受けて長期にわたり力強い成長機会を有するとみています。「気候」については、多くの国々が炭素排出量ネットゼロを目指しており、脱炭素化に向けた世界の投資額は大きく拡大することが見込まれています。クリーンエネルギー、持続可能な輸送、資源効率化に関連する企業は、今後数十年にわたって成長することが予想されます。ヘルスケアへのアクセス拡大および食料や安全な水の確保といった「健康」に関連するテーマは、長期的な需要が見込まれる重要な成長分野と言えます。世界人口の増加が予想される中、住宅、教育、輸送、雇用の分野や経済維持の面で「エンパワーメント」の問題解決は不可欠です。

引き続き、「気候」、「健康」、「エンパワーメント」の投資テーマに基づき、魅力的と判断する銘柄に投資することで、信託財産の長期的な成長を目指します。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年 8 月 3 日～2022年 7 月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	15 (15)	0.031 (0.031)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	13 (13)	0.026 (0.026)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	58 (6) (52)	0.117 (0.012) (0.105)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	86	0.174	
期中の平均基準価額は、49,055円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) 各比率は、1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年8月3日～2022年7月20日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株	千円	千株	千円
		54	801,209	17	120,118
外国	アメリカ	百株	千米ドル	百株	千米ドル
		11,100	146,231	2,821	43,457
		(58)	(170)	(ー)	(170)
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	1,237	8,965	36	151
	フランス	803	5,554	318	3,861
	オランダ	940	12,203	50	4,137
	オーストリア	955	3,689	32	79
	イギリス	3,502	千英ポンド	4,201	千英ポンド
			4,881		1,071
	スイス	426	千スイスフラン	13	千スイスフラン
			6,467		158
	スウェーデン	2,867	千スウェーデンクローナ	3,992	千スウェーデンクローナ
			27,899		38,333
	ノルウェー	747	千ノルウェークローネ	352	千ノルウェークローネ
		(986)	(ー)		16,441
国	デンマーク	2,543	千デンマーククローネ	385	千デンマーククローネ
			70,481		24,192
	香港	4,505	千香港ドル	1,873	千香港ドル
			70,359		54,445
	台湾	3,390	千新台幣ドル	60	千新台幣ドル
			257,652	(ー)	3,253
					(2,112)
インド			千インドルピー		千インドルピー
		2,136	529,702	610	270,550

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) () 内は株式分割、予約権行使（株式転換）、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) ー印は該当なし。

○株式売買比率

(2021年8月3日～2022年7月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	37,310,866千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	31,705,653千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.17

(注) 株式売買金額は、受け渡し代金。

(注) 平均組入株式時価総額は、各月末現在の組入株式時価総額（外貨建株式は、当該月末日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した額）の単純平均。

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年8月3日～2022年7月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年7月20日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
機械 (61.6%)	千株	千株	千円
SMC	4	10.3	661,672
サービス業 (38.4%)			
リクルートホールディングス	58.6	89.4	412,134
合 計	株 数 ・ 金 額	株 数	金 額
銘 柄 数 < 比 率 >	62	99	1,073,806
	2	2	< 3.0% >

(注) 銘柄欄の（ ）内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

銘柄		株数	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等
			株数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円	
AFLAC INC		—	817	4,494	620,991	保険
AMERICAN WATER WORKS CO INC		113	230	3,376	466,563	公益事業
BECTON DICKINSON AND CO		—	235	5,609	775,102	ヘルスケア機器・サービス
BIO-RAD LABORATORIES A		52	92	4,547	628,266	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CALIX INC		636	1,092	4,630	639,745	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
DANAHER CORP		131	265	6,784	937,419	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
DEERE & CO		—	199	6,218	859,196	資本財
DELL TECHNOLOGIES -C		—	536	2,362	326,369	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
HEXCEL CORP		506	504	2,855	394,543	資本財
LABORATORY CRP OF AMER HLDGS		165	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
MSCI INC		68	138	5,897	814,819	各種金融
MOTOROLA SOLUTIONS INC		151	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
NEXTERA ENERGY INC		323	777	6,135	847,759	公益事業
NIKE INC -CL B		215	435	4,759	657,602	耐久消費財・アパレル
OWENS CORNING		—	437	3,625	500,882	資本財
PROCTER & GAMBLE CO/THE		123	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品
ROCKWELL AUTOMATION INC		114	172	3,738	516,611	資本財
BLOCK INC - A		90	349	2,419	334,315	ソフトウェア・サービス
TOPBUILD CORP		140	283	5,131	709,010	耐久消費財・アパレル
TREX COMPANY INC		331	547	3,278	453,053	資本財
TWILIO INC - A		43	—	—	—	ソフトウェア・サービス
VISA INC-CLASS A SHARES		100	154	3,307	457,050	ソフトウェア・サービス
WASTE MANAGEMENT INC		268	482	7,336	1,013,662	商業・専門サービス
WEST PHARMACEUTICAL SERVICES		—	130	3,908	539,992	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
WOLFSPEED INC		—	308	2,378	328,663	半導体・半導体製造装置
XYLEM INC		252	379	3,029	418,650	資本財
ZENDESK INC		165	—	—	—	ソフトウェア・サービス
ACCENTURE PLC-CL A		—	90	2,530	349,669	ソフトウェア・サービス
APTIV PLC		213	285	2,769	382,659	自動車・自動車部品
STERIS PLC		139	281	5,986	827,107	ヘルスケア機器・サービス
ADOBE INC		46	115	4,486	619,834	ソフトウェア・サービス
APPLE INC		203	410	6,202	857,037	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
BRUKER CORP		328	663	4,103	567,010	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
COINBASE GLOBAL INC -CLASS A		60	—	—	—	各種金融
CREE INC		200	—	—	—	半導体・半導体製造装置
INTUIT INC		—	68	2,752	380,286	ソフトウェア・サービス
LUMENTUM HOLDINGS INC		420	848	7,094	980,286	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MERCADOLIBRE INC		7	—	—	—	小売
MICROSOFT CORP		111	224	5,824	804,717	ソフトウェア・サービス
SVB FINANCIAL GROUP		74	149	6,371	880,406	銀行
TETRA TECH INC		145	380	5,376	742,848	商業・専門サービス
NXP SEMICONDUCTORS NV		141	285	4,862	671,786	半導体・半導体製造装置
FLEX LTD		2,015	4,067	6,134	847,587	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小計	株数・金額	8,105	16,442	160,320	22,151,510	
	銘柄数<比率>	34	35	—	<61.3%>	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
INFINEON TECHNOLOGIES AG		706	1,426	3,466	490,838	半導体・半導体製造装置
DEUTSCHE BOERSE AG		—	264	4,307	609,929	各種金融

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド

銘柄		株数	期首(前期末)		当期		業種等
			株数	株数	評価額	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額			
(ユーロ…ドイツ)		百株	百株	千ユーロ	千円		
GERRESHEIMER AG		212	428	2,604	368,864	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額	918	2,119	10,378	1,469,632		
	銘柄数<比率>	2	3	—	<4.1%>		
(ユーロ…フランス)							
SCHNEIDER ELECTRIC SE		146	—	—	—	資本財	
DASSAULT SYSTEMES SE		610	1,240	4,729	669,748	ソフトウェア・サービス	
小計	株数・金額	756	1,240	4,729	669,748		
	銘柄数<比率>	2	1	—	<1.9%>		
(ユーロ…オランダ)							
KONINKLIJKE PHILIPS NV		663	1,338	2,824	400,019	ヘルスケア機器・サービス	
KONINKLIJKE DSM NV		150	304	4,465	632,321	素材	
ASML HOLDING NV		—	70	3,434	486,300	半導体・半導体製造装置	
ADYEN NV		10	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
小計	株数・金額	824	1,714	10,724	1,518,640		
	銘柄数<比率>	3	3	—	<4.2%>		
(ユーロ…オーストリア)							
ERSTE GROUP BANK AG		905	1,829	4,532	641,775	銀行	
小計	株数・金額	905	1,829	4,532	641,775		
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.8%>		
ユーロ計		株数・金額	3,405	6,903	30,365	4,299,797	
		銘柄数<比率>	8	8	—	<11.9%>	
(イギリス)				千英ポンド			
LONDON STOCK EXCHANGE GROUP		—	318	2,446	406,113	各種金融	
ABCAM PLC		1,062	2,145	2,399	398,258	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
NETWORK INTERNATIONAL HOLDIN		2,100	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
小計	株数・金額	3,163	2,464	4,845	804,372		
	銘柄数<比率>	2	2	—	<2.2%>		
(スイス)				千スイスフラン			
PARTNERS GROUP HOLDING AG		21	43	3,931	561,360	各種金融	
ALCON INC		316	707	4,956	707,725	ヘルスケア機器・サービス	
小計	株数・金額	338	751	8,888	1,269,086		
	銘柄数<比率>	2	2	—	<3.5%>		
(スウェーデン)				千スウェーデンクローナ			
ERICSSON LM-B SHS		1,124	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小計	株数・金額	1,124	—	—	—		
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>		
(ノルウェー)				千ノルウェークローネ			
TOMRA SYSTEMS ASA		556	—	—	—	商業・専門サービス	
TOMRA SYSTEMS ASA		—	1,939	38,648	539,920	商業・専門サービス	
小計	株数・金額	556	1,939	38,648	539,920		
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.5%>		
(デンマーク)				千デンマーククローネ			
CHRISTIAN HANSEN HOLDING A/S		291	471	21,276	404,684	素材	
VESTAS WIND SYSTEMS A/S		753	2,811	46,689	888,036	資本財	
ORSTED A/S		79	—	—	—	公益事業	
小計	株数・金額	1,125	3,283	67,966	1,292,721		
	銘柄数<比率>	3	2	—	<3.6%>		
(香港)				千香港ドル			
AIA GROUP LTD		1,706	4,338	36,243	637,894	保険	
小計	株数・金額	1,706	4,338	36,243	637,894		
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.8%>		

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド

銘	柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額	評 価 額	
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(台湾)		百株	百株	千新台幣ドル	千円	
MEDIATEK INC		—	1,300	86,060	397,786	半導体・半導体製造装置
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC		—	2,030	99,673	460,708	半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額	—	3,330	185,733	858,495	
	銘 柄 数 < 比 率 >	—	2	—	<2.4%>	
(インド)				千インドルピー		
APOLLO HOSPITALS ENTERPRISE		698	783	315,175	548,405	ヘルスケア機器・サービス
HDFC BANK LIMITED		1,413	2,854	384,737	669,443	銀行
小 計	株 数 ・ 金 額	2,111	3,638	699,913	1,217,848	
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	2	—	<3.4%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	21,637	43,090	—	33,071,646	
	銘 柄 数 < 比 率 >	54	55	—	<91.6%>	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 一印は該当なし。

○投資信託財産の構成

(2022年7月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	34,145,452	93.8
コール・ローン等、その他	2,257,787	6.2
投資信託財産総額	36,403,239	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(34,893,747千円)の投資信託財産総額(36,403,239千円)に対する比率は95.9%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、1米ドル=138.17円、1ユーロ=141.60円、1英ポンド=166.01円、1スイスフラン=142.78円、1スウェーデンクローナ=13.55円、1ノルウェークローネ=13.97円、1デンマーククローネ=19.02円、1香港ドル=17.60円、1新台幣ドル=4.6222円、1インドルピー=1.74円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年7月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	36,403,239,482
コール・ローン等	1,643,913,790
株式(評価額)	34,145,452,482
未収入金	568,408,348
未収配当金	45,464,862
(B) 負債	294,091,512
未払解約金	294,090,000
未払利息	1,173
その他未払費用	339
(C) 純資産総額(A－B)	36,109,147,970
元本	7,650,793,286
次期繰越損益金	28,458,354,684
(D) 受益権総口数	7,650,793,286口
1万口当たり基準価額(C／D)	47,197円

(注) 期首元本額3,806,321,113円、期中追加設定元本額4,528,036,203円、期中一部解約元本額683,564,030円。当期末現在における1口当たり純資産額4,7197円。

(注) 当期末現在において、当親投資信託受益証券を組み入れているベビーファンドの組入元本額の内訳は、下記のとおりです。

<組入元本額の内訳>

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ (年2回決算型)	4,630,885,387円
アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ (予想分配金提示型)	368,021,585円
アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ (年金向け)	1,636,972,321円
適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズー1	71,021,880円
適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズー2	81,733,963円
適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズー3	488,780,327円
適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル株式ファンド (50%ヘッジ)	373,377,823円

○お知らせ

2021年8月3日以降において、当マザーファンドの信託約款について、以下に掲げる事項を内容とする変更を行いました。

信託約款第30条第1項に規定する信託の計算期間について、「毎年8月1日から翌年7月31日まで」とあるのを「毎年7月21日から翌年7月20日まで」に変更しました。

(変更日：2021年11月2日)

○損益の状況 (2021年8月3日～2022年7月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	314,744,441
受取配当金	313,658,027
受取利息	1,367,209
その他収益金	710
支払利息	△ 281,505
(B) 有価証券売買損益	△ 1,930,530,343
売買益	7,553,650,218
売買損	△ 9,484,180,561
(C) 保管費用等	△ 43,229,380
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,659,015,282
(E) 前期繰越損益金	14,243,875,883
(F) 追加信託差損益金	18,443,897,003
(G) 解約差損益金	△ 2,570,402,920
(H) 計(D+E+F+G)	28,458,354,684
次期繰越損益金(H)	28,458,354,684

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。